

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 2 月 6 日 (2014.2.6)

【公開番号】特開 2012-134669 (P2012-134669A)

【公開日】平成 24 年 7 月 12 日 (2012.7.12)

【年通号数】公開・登録公報 2012-027

【出願番号】特願 2010-283732 (P2010-283732)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/41 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/41 B

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 12 月 16 日 (2013.12.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数画素から成る画素ブロックを、該画素ブロックの左端の縦ラインを含む第 1 の矩形画素ブロック、前記画素ブロックの右端の縦ラインを含む第 2 の矩形画素ブロック、前記画素ブロックから前記第 1 の矩形画素ブロック及び第 2 の矩形画素ブロックを省いた残りの矩形画素ブロックである第 3 の矩形画素ブロック、の 3 つの矩形画素ブロックに分割する手段と、

前記第 1 の矩形画素ブロック、前記第 2 の矩形画素ブロック、前記第 3 の矩形画素ブロック、のそれぞれを符号化して第 1 の符号化矩形画素ブロック、第 2 の符号化矩形画素ブロック、第 3 の符号化矩形画素ブロックを生成し、該生成した第 1 の符号化矩形画素ブロック、第 2 の符号化矩形画素ブロック、第 3 の符号化矩形画素ブロックをメモリに格納する符号化手段と、

前記メモリにおける前記第 1 の符号化矩形画素ブロックの先頭アドレス及びデータサイズ、前記メモリにおける前記第 2 の符号化矩形画素ブロックの先頭アドレス及びデータサイズ、前記メモリにおける前記第 3 の符号化矩形画素ブロックの先頭アドレス及びデータサイズ、を前記画素ブロックに対するアドレス情報として前記メモリに格納する格納手段と

を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記符号化手段は、前記第 1 の矩形画素ブロック、前記第 2 の矩形画素ブロック、前記第 3 の矩形画素ブロック、のそれぞれに対して可変長符号化を行うことで前記第 1 の符号化矩形画素ブロック、前記第 2 の符号化矩形画素ブロック、前記第 3 の符号化矩形画素ブロックを生成し、該生成した第 1 の符号化矩形画素ブロック、第 2 の符号化矩形画素ブロック、第 3 の符号化矩形画素ブロックのそれぞれを前記メモリ内の連続したメモリ領域に格納することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

更に、

着目画素ブロックの前記第 1 の符号化矩形画素ブロック、前記第 2 の符号化矩形画素ブロック、前記第 3 の符号化矩形画素ブロック、を伸張する第 1 の伸張手段と、

前記着目画素ブロックが属する画像上で前記着目画素ブロックの左に隣接する画素プロ

ックのアドレス情報を参照して、前記メモリから該左に隣接する画素ブロックの前記第 2 の符号化矩形画素ブロックを読み出して伸張する第 2 の伸張手段と、

前記着目画素ブロックが属する画像上で前記着目画素ブロックの右に隣接する画素ブロックのアドレス情報を参照して、前記メモリから該右に隣接する画素ブロックの前記第 1 の符号化矩形画素ブロックを読み出して伸張する第 3 の伸張手段と、

前記第 1 の伸張手段による伸張で得られる前記着目画素ブロックに対する画像処理を、前記第 2 の伸張手段により伸張された前記第 2 の矩形画素ブロック、前記第 3 の伸張手段により伸張された前記第 1 の矩形画素ブロック、を用いて行う手段と

を備えることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記画像処理は、J P E G 符号化の処理であることを特徴とする請求項 3 に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

画像処理装置が行う画像処理方法であって、

前記画像処理装置の分割手段が、複数画素から成る画素ブロックを、該画素ブロックの左端の縦ラインを含む第 1 の矩形画素ブロック、前記画素ブロックの右端の縦ラインを含む第 2 の矩形画素ブロック、前記画素ブロックから前記第 1 及び第 2 の矩形画素ブロックを省いた残りの矩形画素ブロックである第 3 の矩形画素ブロック、の 3 つの矩形画素ブロックに分割する工程と、

前記画像処理装置の符号化手段が、前記第 1 の矩形画素ブロック、前記第 2 の矩形画素ブロック、前記第 3 の矩形画素ブロック、のそれぞれを符号化して第 1 の符号化矩形画素ブロック、第 2 の符号化矩形画素ブロック、第 3 の符号化矩形画素ブロックを生成し、該生成した第 1 の符号化矩形画素ブロック、第 2 の符号化矩形画素ブロック、第 3 の符号化矩形画素ブロックをメモリに格納する符号化工程と、

前記画像処理装置の格納手段が、前記メモリにおける前記第 1 の符号化矩形画素ブロックの先頭アドレス及びデータサイズ、前記メモリにおける前記第 2 の符号化矩形画素ブロックの先頭アドレス及びデータサイズ、前記メモリにおける前記第 3 の符号化矩形画素ブロックの先頭アドレス及びデータサイズ、を前記画素ブロックに対するアドレス情報として前記メモリに格納する格納工程と

を備えることを特徴とする画像処理方法。

【請求項 6】

コンピュータを、請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載の画像処理装置の各手段として機能させるためのコンピュータプログラム。